

第4回市民ファンド研究会のお知らせ

その時、市民ファンドに何ができるのか？

－東日本大震災時の取り組みから考える－



第4回研究会の論点

2014年9月11日で東日本大震災から3年半が経過し、被災地は救援期から生活再建期に移行しながら徐々に生活再建の動きが進みつつある。しかし仮設住宅等への入居者数は、約25万8千人（2014年5月現在）、ピーク時の74%と依然として高く、その動きは遅い。

原発事故を伴った今回の甚大な津波災害の中で、市民セクターとして被災者あるいは被災地に向けて実に多様な「民間支援」が行われた。その一つに資金面での支援があり、市民ファンドはその中心の一つを担った。今回の研究会では、東日本大震災の際に資金的支援を行った4つの市民ファンドの実践をお聞きする中から、「その時、市民ファンドに何ができるのか？」を考える。

研究会の前半では、市民ファンドは、国内・国外からの資金的な「支援リソース（寄付金）」を、必要とする被災地の「支援ニーズ」に如何にコーディネートしてきたのかについて、地域レベルと広域レベルからと、救援期と生活再建期からの両面から検証を行う。

後半では、「その時」（大災害時等の緊急時）に、市民ファンドや中間支援団体が果たすべき役割とは何なのか、そして資金集めや適切な配分・助成を行うために必要な市民ファンドとしての行動・連携とは何なのかなど、今後の大災害等の緊急時における市民ファンドの役割やその備えについて意見交換を行う。



日時・会場

日時： 2014年12月20日（土）午後2時～午後5時

会場： 日本NPOセンター会議室（東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル地下1階）

（アクセス）http://www.jnpoc.ne.jp/?page_id=629



登壇者

- 紅邑晶子さん せんだい・みやぎNPOセンター 理事長
- 横田能洋さん 茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事／事務局長
- 鈴木祐司さん 地域創造基金さなぶり 専務理事／事務局長
- 坂本憲治さん 東日本大震災現地NPO応援基金 プログラムオフィサー



申し込み先・問い合わせ先

申し込みは、所属名とお名前をお書き添えの上、以下の宛先（メール）にお送りください。

NPO法人市民社会創造ファンド 担当：坂本・山田

TEL：03-5623-5055 / 電子メール：eyamada@civalfund.org



当日の流れ (進行 鈴木健一 神奈川県子ども未来ファンド理事)

14:00 開 会

○地域レベルでの被災地支援を行った市民ファンドからの報告

- 1 せんだい・みやぎ NPO センター 理事長 紅邑晶子
- 2 茨城 NPO センター・コモンズ 常務理事/事務局長 横田能洋

○広域レベルでの被災地支援を行った市民ファンドからの報告

- 3 地域創造基金さなぶり 専務理事/事務局長 鈴木祐司
- 4 東日本大震災現地 NPO 応援基金 プログラムオフィサー 坂本憲治

15:30 休 憩

15:40 討論及び質疑 –その時、市民ファンドに何ができるのか？

16:50 まとめ

17:00 閉 会



交流会&忘年会 (自己負担 3,000 円程度) を開催します。



参加費

1,000 円 (定員は先着 30 名まで。定員になり次第締め切り)



旅費の支援

市民ファンド関係者で遠方から参加される方については、市民社会創造ファンドの研修参加旅費助成制度で都市間往復旅費から 1 万円を差し引いた額の助成がありますので、希望される方は、下記の問い合わせ先までご相談ください。



主催：市民ファンド推進連絡会 共催：NPO 法人市民社会創造ファンド



参考 市民ファンド・市民ファンド推進連絡会・市民ファンド研究会について

○市民ファンド：

新しい価値の創造や社会課題の解決のため、市民からの寄付を中心に、市民の活動に助成する、市民が主体的に設置・運営する仕組み。

○市民ファンド推進連絡会：

全国の市民ファンド及び中間支援組織の有志により、日本社会に市民ファンドを発展・普及させていくことを目的に 2011 年 7 月に設立。事務局は NPO 法人市民社会創造ファンドと認定 NPO 法人神奈川県子ども未来ファンドに設置。

○市民ファンド研究会：

特徴的な市民ファンドの事例について、設立時の取り組み、寄付集め、助成団体の選定・評価、支援者参加型の運営などの視点から意見交換を行い、市民ファンドの経営力のアップと市民ファンド関係者間のネットワークづくりを行うことを目的に 2014 年から開催。これまでの開催状況は以下のとおり。

第 1 回 3 月 8 日 事例報告 草の根市民基金ぐらん、ソーシャル・ジャスティス基金、かながわ生き生き市民基金

第 2 回 6 月 19 日 事例報告 京都地域創造基金、あいちコミュニティー財団、にいがた NPO 基金

第 3 回 9 月 11 日 事例報告 ゆめ風基金、ビッグイシュー基金